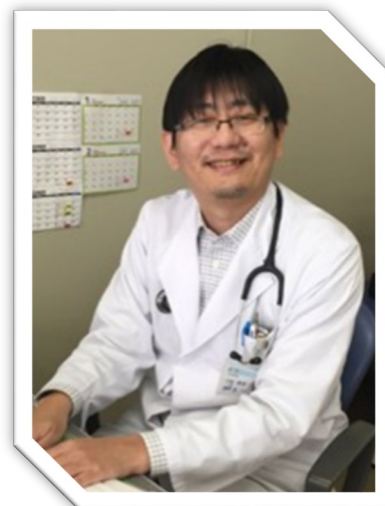


【 指導医に聞く 】 公立豊岡病院組合 豊岡病院 日高医療センター

【自己紹介】

氏名 小松 素明 （こまつ もとあき）

1997 年自治医科大学卒業。その後義務年限内は梁瀬病院（朝来市）、八鹿病院神経内科で勤務。義務年限終了後は梁瀬病院、和田山医療センター、神戸大学総合内科、日高医療センターで勤務。現勤務先の日高医療センターは 2010 年より勤務で現在 13 年目に当たります。



【日高医療センターの場所について】

日高医療センターのある豊岡市日高町は西には神鍋高原のスキー場・民宿があり、東側は豊岡市街のベッドタウン的な要素があります。医療センターの周囲は住宅が密集し、スーパーや銀行・郵便局など日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあります。最寄りの特急停車もする江原駅も徒歩 8 分なので生活するにあたって車の免許を持っていなくても不便さはそこまで感じないと思います。

【日高医療センターの特徴】

慢性透析患者さんが多数通院されています。透析ベッド数は 64 と但馬では最大です。内科・整形外科・産婦人科・外科・皮膚科があります。内科については生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症）の治療に特化しています。生活習慣病以外の病気も診れる範囲の病気を見えています。対象人口 1 万人以上いますので、いろんな病気の方がこられます。高度な検査・治療が必要な病気については豊岡病院・八鹿病院や姫路・京阪神間の病院に紹介します。医師数が少ないため、豊岡病院総合診療科から外来・透析業務の応援をいただいています。また土曜・休日の透析については神戸大学から先生の応援をいただいています。病棟は眼科が本年豊岡病院に移転した関係で現在休止中です。将来的には 19 床の有床診療所で再開予定です。病棟の縮小に伴い新たに力を入れ始めたのが訪問診療です。近隣開業医の減少・需要の増大から今年訪問診療を始めました。

義務年限内の養成医の先生は今年在籍しておりませんが、来ていただけましたら外来業務・透析業務・訪問診療業務をしていただく予定になります。現在県養成医の派遣先では訪問診療をするところが少ないので貴重な経験になると考えます。また透析に興味のある先生は症例数が豊富にありますのでキャリアアップになるかと思います。

キャリア形成卒後支援ユニット

postgrad@med.kobe-u.ac.jp

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 TEL 078-382-6596 FAX 078-382-6597 (神戸大学総合内科医局内)

内科専門医プログラムの特別連携施設・総合診療専門医指導医保有医師がいますので当院での勤務1年間は専門医に必要な年数にカウントされます。

勤務は平日午前中については超忙しいですが、それ以外は比較的ゆったりしたペースで仕事ができると思います。メリハリのある勤務形態です。

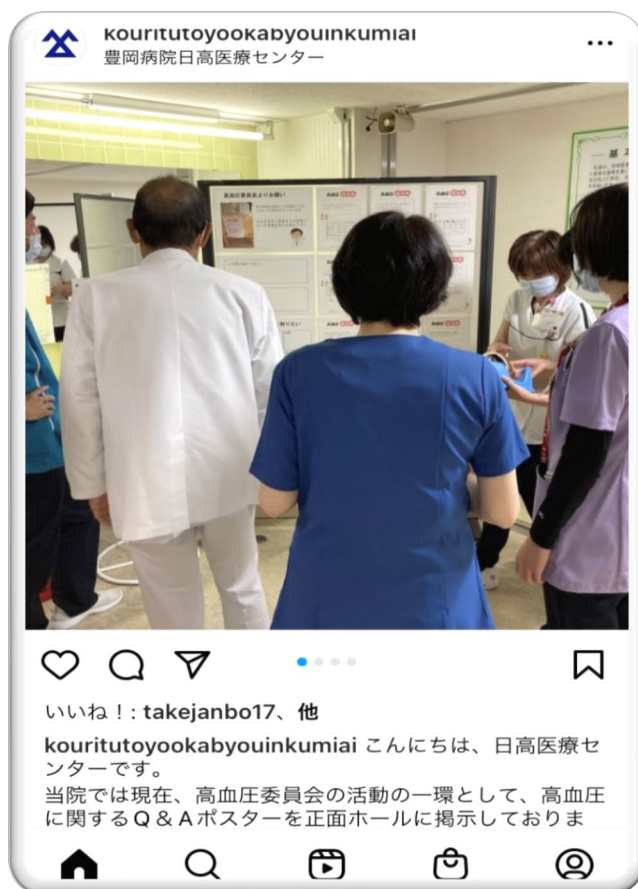
【地域医療の魅力】

地域医療の魅力は患者さんの基礎疾患や生活背景を理解しそれに沿って治療を組み立てることができることです。ある程度の期間いると記憶できる範囲も増えるため診療がやりやすくなりますし患者さんにも感謝されることも増えます。患者さんから感謝されることで医師冥利に尽きます。

【県養成医・学生へのメッセージ】

私自身、県のお勧め通りに勤務派遣となり、それが良かったため義務年限が終了してもその制度に残りたかったため地域医師として県に在籍をしています。自身で進路をкаっちり決めていくのも良いですが、天命だと思い県のお勧め通りに派遣されてみるのも良い面もあります。自分で気づけなかった良さに気づくことも多いです。

養成医師・学生の皆さんも、将来の進路につき悩むこともあるかと思いますが、現在は相談先も多岐にわたりますので、どんどん相談していただくのが良いと思います。県側もかなり養成医に寄り添ってくれますので相談しがいいはあると思います。



キャリア形成卒後支援ユニット
postgrad@med.kobe-u.ac.jp